演習Ⅱ

担当者 鎌苅　宏司

開講時期 通年　　**単　位** 8

●講義の概要

演習Ⅰで決めた研究テーマにしたがい、毎回の研究報告と修士論文の内容報告に対する論文指導が中心になります。

●講義の到達目標

受講生が設定した研究テーマに関する先行研究の理解と、各自の研究テーマの位置付けができることを第1の目標とし、先行研究の系譜を修士論文にまとめ、各自の研究テーマ、すなわち「問い」に対する「答え」が論証できることを第2の目標としています。

●講義計画

前期は初回に研究テーマの設定と確認を経て、第2回目からは先行研究の内容報告を毎回行ってもらいます。後期は毎回修士論文の下書きを提出してもらいます。

●成績評価基準と方法

受講生の研究報告と修士論文の内容に基づきます。

具体的には、演習Ⅰで修士論文の研究テーマを決めている場合は、テーマに沿った先行研究の渉猟とその内容報告を適切に行うことができ、先行研究における研究テーマの位置付けが適切に行われているかを提出物から判断します。研究テーマに応じた先行研究の適切な「編集」が70%、データに基づく実証分析あるいは論理手順を踏んだモデル分析が30%になります。

●テキスト又は参考文献

参考文献として明石芳彦著『社会科学系の論文の書き方』（ミネルヴァ書房）をあげておきます。

●受講上の留意点

(1)演習科目の担当者が習熟しているテーマであること。(2)受講生が先行研究を渉猟しやすいこと。(3) 実証研究のために必要なデータが入手可能であること。これら3つの条件のうち、少なくとも2つが満たされていないときは、できるだけ早く2つ以上の条件が満たされるように担当者と事前に相談するなど、各自で工夫をしてください。